

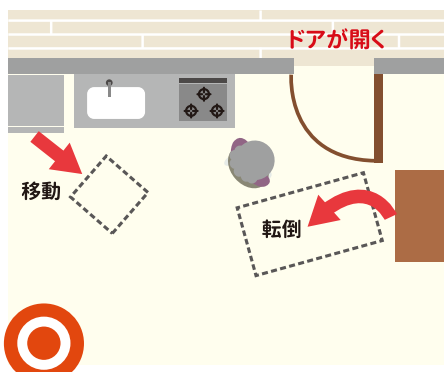
# 家具の固定

大きな地震の際、家具類は必ず倒れるものと考えましょう。  
阪神・淡路大震災では、死亡者の約1割、負傷者の46%が家具類の転倒によるものといわれています。  
自宅での避難生活を可能とするためにも、家具類の固定をしましょう。

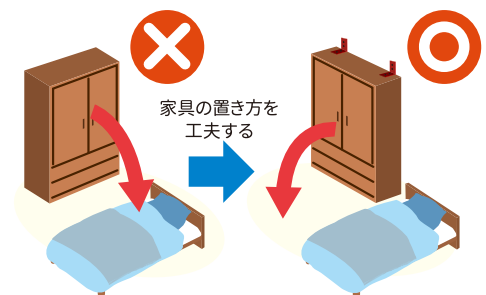


## 家具類の配置などを見直そう

ドアの開閉と避難通路を考えた家具類の設置をする



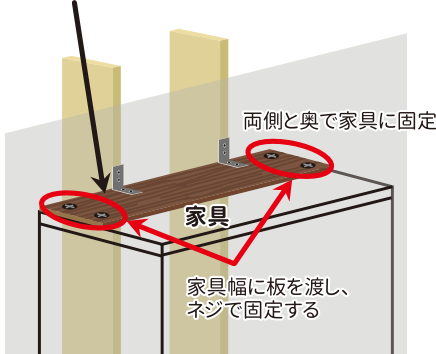
寝室には家具類を置かない、  
または置き方を工夫する



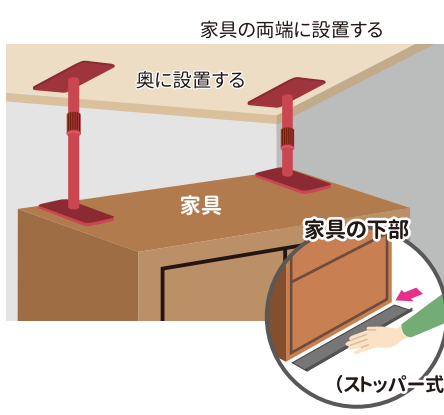
## 家具類の固定方法

ネジで固定する

家具類の天板に強度がない場合は、  
あて板をする



ネジでの固定が難しい場合



## ガラスの飛散防止に 備える

窓ガラスや家具類のガラス面に  
飛散防止フィルムを貼り付ける



## 家族との連絡方法、集合場所を 確認しておきましょう

災害時最も心配になるのは家族の安否です。複数の手段で連絡の取れる確率を高めましょう。いざという時のためにメモに書いておくと便利です！

災害伝言ダイヤル「171」や、携帯電話の「災害用伝言板」をしよう！  
安否確認用の伝言サービス(171)

171を  
ダイヤル

録音のとき  
再生のとき

「1」をダイヤル  
「2」をダイヤル

自分の携帯電話番号をダイヤル  
相手の携帯電話番号をダイヤル

録音する  
再生する

体験利用が可能なお日

毎月1日、15日、1月1日～3日(24時間)、防災とボランティア週間(1月15日9時～21日17時)、  
防災週間(8月30日9時～9月5日17時)

## 大阪市防災アプリ



大阪市では、災害時における迅速な避難を支援し市民の安全を確保すること、日頃から災害に対する意識を啓発することを目的に、多くの市民が常時携帯するスマホ向けに開発した、市民向けの防災アプリを運営しています。

災害  
発生時の  
機能

- 気象庁の警報、注意報、地震発生などの災害情報や、本市からのお知らせをプッシュ通知で配信
- 自分の安否情報の連絡や家族の安否情報を検索
- GPSで取得した現在地の浸水想定図や最寄りの避難場所、避難ビルなどを検索
- オフライン時でも、事前にダウンロードをしておくことで閲覧可能

